



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 尾家産業株式会社

コード番号 7481 URL <http://www.oie.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 尾家 啓二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部副本部長

(氏名) 小笠原 拓正

TEL 06-6375-0158

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	59,121	7.2	493	△5.7	537	△6.2	318	3.2
26年3月期第3四半期	55,126	4.6	522	△18.1	573	△16.8	308	△16.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	35.24	—
26年3月期第3四半期	33.39	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	29,118	11,069	38.0	1,223.32
26年3月期	24,830	10,781	43.4	1,191.45

(参考)自己資本 27年3月期第3四半期 11,069百万円 26年3月期 10,781百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
26年3月期	—	9.00	—	9.00	円 銭	18.00
27年3月期	—	9.00	—	—	円 銭	—
27年3月期(予想)	—	—	—	9.00	円 銭	18.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年 3月期の業績予想(平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	76,000	5.0	760	17.4	820	13.7	450	12.5	49.73

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期3Q	9,255,000 株	26年3月期	9,255,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年3月期3Q	206,080 株	26年3月期	206,080 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	9,048,920 株	26年3月期3Q	9,251,388 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、輸出関連企業は、急激な円安により大幅な売上・利益向上となりましたが、原材料を輸入に頼る業界は、原料費、物流費、人件費等の高騰と併せて厳しい業績となりました。

当社の主要取引先であります外食業界におきましても、一部の業態（ファミリーレストラン、焼肉店等）では来店客数増により売上回復が見られましたが、相変わらず低価格化や消費者の節約志向により厳しい競争を余儀なくされています。特に、居酒屋、専門店（パスタ、ラーメン等）では昨年同期に比較し苦戦を強いられました。

このような経済環境の下、当社は長期的目標であります「いい会社を作ろう」を目指し、平成25年4月より、第二次3ヶ年中期経営計画「チャレンジ!!スマイルOne」を実行しております。第2期目の当期は、基本方針として「取組先への貢献」「営業利益の確保」「報・連・相の徹底」を掲げ、全社を挙げて計画達成に向けて取組んでおります。

営業政策としましては、8月から9月にかけて秋季提案会（テーマ『食～秋冬の陣～』）を各出展メーカーのご協力を得て、全国15会場で開催し、7千名を超えるお客様にご来場を頂きました。特別企画の肉の陣、魚の陣により、当社が取扱っている畜産商品、水産商品をアピールすることができ、従来の新商品、新メニューの提案に加えることができました。また、第1四半期より本格的に取組んでいます病院・高齢者を対象としたヘルスケアフード事業の年間売上70億円達成に向けて営業活動中でございます。

11月から12月末まで恒例の「第8回年末大感謝セール」を主要メーカーのご協力により実施し、お客様に1年分の感謝の気持ちとして利益を還元いたしました。

更に、各地においても業種・業態を絞った「ミニ提案会」を開催し、既存のお客様との取組みを深化させ、並行して新規得意先開拓に努力いたしました。

当第3四半期累計期間においては、新たな物流拠点の変更はございませんが、物流品質の向上を一層図るため、岡山営業所と姫路営業所を平成27年4月と5月に新築移転できるよう着工いたしました。

12月末現在、全国46事業所（11支店、33営業所、サンプラザ2店（業務用食品スーパー））となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高591億21百万円（前年同期比7.2%増）、営業利益4億93百万円（前年同期比5.7%減）、経常利益5億37百万円（前年同期比6.2%減）、四半期純利益3億18百万円（前年同期比3.2%増）と増収増益となりました。

なお、当社は食品卸売事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期末の総資産は、291億18百万円となり、前事業年度末と比較して42億88百万円増加となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が30億88百万円増加したこと、現金及び預金が7億16百万円増加したこと及び商品が8億14百万円増加したものの、未収入金が2億57百万円減少したこと及び有形固定資産が1億95百万円減少したことによります。

(負債)

負債は180億48百万円となり、前事業年度末と比較して40億円の増加となりました。主な要因は、買掛金が39億89百万円増加したことによります。

(純資産)

純資産は110億69百万円となり、前事業年度末と比較して2億88百万円の増加となりました。主な要因は、繰越利益剰余金が1億57百万円増加したこと及びその他有価証券評価差額金が1億32百万円増加したことによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、平成26年5月12日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法に変更いたしました。これによる損益及び財政状態に与える影響はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,425,118	6,142,035
受取手形及び売掛金	8,228,443	11,317,100
商品	2,456,070	3,270,283
繰延税金資産	173,848	102,505
未収入金	1,080,791	822,960
その他	26,457	54,003
貸倒引当金	△16,456	△22,640
流動資産合計	17,374,274	21,686,248
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,351,757	1,327,579
減価償却累計額及び減損損失累計額	△599,150	△610,501
建物（純額）	752,607	717,078
建物附属設備	2,630,713	2,606,726
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,894,608	△1,960,321
建物附属設備（純額）	736,105	646,404
構築物	139,082	139,271
減価償却累計額及び減損損失累計額	△107,516	△110,643
構築物（純額）	31,565	28,628
機械及び装置	193,692	197,292
減価償却累計額	△149,018	△156,528
機械及び装置（純額）	44,673	40,763
車両運搬具	61,586	2,515
減価償却累計額	△58,173	△2,376
車両運搬具（純額）	3,412	138
工具、器具及び備品	621,669	599,909
減価償却累計額及び減損損失累計額	△415,419	△443,169
工具、器具及び備品（純額）	206,249	156,740
土地	2,608,329	2,597,216
有形固定資産合計	4,382,944	4,186,971
無形固定資産		
ソフトウェア	237,848	216,000
ソフトウェア仮勘定	22,916	34,547
電話加入権	26,614	26,614
施設利用権	350	274
無形固定資産合計	287,729	277,437
投資その他の資産		
投資有価証券	727,742	918,407
差入保証金	1,540,790	1,560,393
会員権	38,590	35,468
保険積立金	30,960	30,960
破産更生債権等	63,383	98,706
繰延税金資産	424,063	389,686
その他	12,010	9,105
貸倒引当金	△52,386	△74,910
投資その他の資産合計	2,785,154	2,967,818
固定資産合計	7,455,828	7,432,227
資産合計	24,830,102	29,118,476

（単位：千円）

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,457,632	14,446,658
リース債務	116,896	102,608
未払金	166,010	33,725
未払費用	960,782	1,068,519
未払法人税等	160,605	45,580
賞与引当金	330,000	180,000
資産除去債務	1,118	13,930
その他	20,920	343,305
流動負債合計	12,213,966	16,234,327
固定負債		
リース債務	267,041	214,163
退職給付引当金	1,102,066	1,140,638
役員退職慰労引当金	234,939	244,154
資産除去債務	202,343	188,022
その他	28,424	27,474
固定負債合計	1,834,813	1,814,453
負債合計	14,048,780	18,048,781
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,305,700	1,305,700
資本剰余金	1,233,690	1,233,690
資本準備金	1,233,690	1,233,690
利益剰余金	8,198,089	8,354,090
利益準備金	154,131	154,131
その他利益剰余金	8,043,958	8,199,958
特別償却準備金	7,056	5,292
別途積立金	4,600,000	4,600,000
繰越利益剰余金	3,436,901	3,594,666
自己株式	△170,908	△170,908
株主資本合計	10,566,571	10,722,571
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	214,751	347,123
評価・換算差額等合計	214,751	347,123
純資産合計	10,781,322	11,069,694
負債純資産合計	24,830,102	29,118,476

（2）四半期損益計算書
（第3四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）	当第3四半期累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年12月31日）
売上高	55,126,949	59,121,809
売上原価	46,522,009	49,993,913
商品期首たな卸高	2,066,917	2,456,070
当期商品仕入高	47,535,825	50,808,126
商品期末たな卸高	3,080,733	3,270,283
売上総利益	8,604,939	9,127,896
販売費及び一般管理費	8,082,051	8,634,809
営業利益	522,887	493,087
営業外収益		
受取利息	4,241	3,997
受取配当金	13,759	10,836
受取賃貸料	23,485	22,698
雑収入	14,371	12,821
営業外収益合計	55,858	50,353
営業外費用		
支払利息	3,755	3,959
雑損失	1,360	1,504
営業外費用合計	5,116	5,464
経常利益	573,629	537,976
特別利益		
投資有価証券売却益	—	3,940
特別利益合計	—	3,940
特別損失		
固定資産売却損	—	4,617
特別損失合計	—	4,617
税引前四半期純利益	573,629	537,299
法人税、住民税及び事業税	133,697	184,524
法人税等調整額	131,019	33,894
法人税等合計	264,717	218,418
四半期純利益	308,911	318,881

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社は、食品卸売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。